



Kagoshima Bank

News Release

2023年8月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が一段と回復し、消費関連が回復している。一方、投資関連、雇用情勢は横ばい、生産活動が弱含み、畜産関連が低迷している。足元では、物価上昇の影響が続いているものの、コロナ5類引き下げによる社会経済活動再開の動きが続き、全体として回復傾向が強まっている。

生産活動は、5月の鉱工業生産指数が11か月連続で前年を下回った。食料品、窯業・土石製品、電子部品・デバイスのいずれも前年を下回った。

畜産関連では、7月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を下回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、6月の家電大型専門店販売額、7月の軽自動車届出台数は前年を下回ったものの、6月の百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、7月の乗用車新車登録台数は前年を上回った。

観光関連では、7月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、7か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を下回ったものの、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を上回った。

雇用情勢は、6月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.22倍となった。

【生産活動】… 弱含み

電子部品関連は、5G関連は堅調だが、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きが続いている。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

6月の焼酎生産は、2か月連続で前年を下回り、出荷量は2か月ぶりに前年を下回った。

5月のかつお節生産は、8か月連続で前年を上回った。

7月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが5か月連続で前年を上回り、民間工事向けは2か月ぶりに前年を上回り、全体では20.5%増と3か月連続で前年を上回った。

7月の紙パルプ生産は、3か月ぶりに前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】… 低迷

7月の子牛の出荷頭数は前年をやや上回り、価格は前年を下回った。7月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4は9.6%減と9か月連続で前年を下回り、去勢A3は11.1%減と11か月連続で前年を下回った。6月の枝肉生産量は前年並みとなった。

7月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は2.7%増と7か月連続で前年を上回った。6月の枝肉生産量は前年を下回った。

7月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は12.2%増と13か月連続で前年を上回り、むね肉は18.8%増と42か月連続で前年を上回った。7月の処理羽数はほぼ前年並みとなった。

7月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は56.1%増と11か月連続で前年を上回った。6月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】… 回復

6月の百貨店・スーパー販売は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では21か月連続で前年を上回った。

6月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

7月の乗用車新車登録台数は、7か月連続で前年を上回った。

7月の軽自動車届出台数は2か月連続で前年を下回った。

【観光関連】… 一段と回復

7月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、全国旅行支援や、コロナ5類引き下げなどで、7か月連続で前年を上回った。関東、中部、香港、中国などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加した。

鹿児島地区は、関東、中部、香港、中国などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、12か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東、香港などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、7か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、7か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区、奄美地区ともに7か月連続で前年を上回った。

7月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】… 横ばい

7月の公共工事は、件数は前年を上回ったが、請負金額は前年を下回った。

6月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を上回った。

6月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったものの、貸家、分譲が前年を上回り、全体では4か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、13.3%減となった。

6月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】… 輸出額、輸入額ともに前年を下回った

6月の輸出額は、ゴムタイヤおよびチューブが前年を上回ったものの、再輸出品、パルプおよび古紙、食料品および動物、木材が前年を下回り、全体では77.4%減と4か月連続で前年を下回った。輸入額は、原油および粗油、穀物および同調製品が前年を下回り、全体で31.1%減と2か月ぶりに前年を下回った。

【雇用情勢】… 横ばい

6月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.22倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った

5月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.4%上回った。

【企業倒産】… 倒産件数は前年を上回った

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が10件で前年同月（4件）を上回った。また負債総額は15億73百万円で前年同月（2億29百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）